

発達の特徴について



お子さんにこのような様子が見られたら…

「多動」「落ち着きがない」「言うことを聞かない」

以下のことを確認してみましょう

- 耳の聞こえは悪くないですか？
- 視力は両眼とも日常生活に支障がないですか？（矯正されていますか？）
⇒ 集団に入ったときに耳の聞こえが悪いと先生の話も聞きにくくなり、何を話しているのかわからず、集中できず落ち着きもなくなります。視力についても同じことが言えます。
- からだはしっかりできていますか？
⇒ 姿勢を保ち一定の時間筋肉に力が入っていないとふにゃふにゃしたり、そわそわしてしまいます。
- からだの使い方はどうですか？
⇒ からだの使い方が思うようにいかず、鉄棒やバランスが得意でない子もいます。また、からだの動きを止めなくてはいけないときに止められずに道路への飛び出しなど危険を避けることが苦手なお子さんもいます。

ほかにも…

「会話がかみ合わない」「遊びのルールが理解しにくい」など、人とのかかわりに苦手さを持っているお子さんもいます。

「いうことを聞けない」「落ち着きがない」「人とのかかわりが苦手」などの特性は、周囲の適切なかかわり方により改善されることがあります。しかられることが多かったお子さんの苦手な部分を周囲の大人が理解し、適切な対応がわかると、お子さんも自信を持って生活できるようになることがだんだんわかってきています。

**このようなお子さんは決して理解力の問題ではありません。
もちろんしつけの問題でもありません。**

このようなお子さんへの支援の方法がすこしずつわかってきたこともあり、家庭や保育園の先生方といっしょにどのような方法をとればそのお子さんが集団の中で自信を持って生活できるか応援する体制が整いつつあります。そのきっかけのひとつが「5歳児教室」です。

お子さんの得意な部分、苦手な部分を客観的にみて、今後お子さんが自信を持って生活できるよう、見通しを立てながら今できることを応援できたらと考えています。

5歳児教室の主な内容

全体を通して

- 社会性（お友達と仲良くできるかな？とか）
ルールや理解（順番待てるかな？とか）
状況判断（いま、何するのかな？とか）
からだの使い方や筋力、バランス
聞こえや見え方等全体の発達にかかわる相談の場です。
- いつもと違った環境なので、今日は緊張したり、テンションが高かったり、いつも通りではないかも知れません。それでもいいのです。



集団あそび：集団の中でいろいろな遊びをします。

- 行進
集中して音楽を聴き、音楽にあわせて動けるか、あるいはからだの動きを止められるか
- フルーツバスケット
遊びのルールを理解して集団のなかで友達と遊ぶことができるか
- サーキット
順番を待つなど集団の流れに乗りながらからだの使い方がどうか
- 絵本の読み聞かせ
着席を要求されている場面での様子や集団の中でお話を聞く様子はどうか

個別チェックシート：「見る」「聞く」「話す」を中心に1対1で簡単な発達検査をします。

教室後のフォロー

〔相談〕

お子さんのそだちやことば等の発達相談として発達支援相談員の相談におつなぎします。必要な検査をしながらこれからの支援方法を考えたり、生活面や接し方のアドバイスをを行います。

直近の相談を紹介をさせて頂くこともあります。また、気になる方は最後の面談でお話ください。

〔教室〕

保育園や幼稚園とは違う小集団の中で、ルールに沿って行動したり、からだを動かして遊んだり、言語面や対人関係面を支援するための遊びをする「うまっこ教室」があります。

旧軽米幼稚園を会場に行います。直近の教室を紹介をさせて頂くかもしれません。また、気になる方は最後の面談でお話ください。

今日だけでなく、今後も気になることなど園の先生や保健師までお話してもらえればうれしいです。一緒に考えて行きましょう。

健康福祉課 健康づくり担当（健康ふれあいセンター内） 電話 46-4111

